



すくすく めえる

子育てほっとステーション あゆみ子どもセンター

熊本市北区武蔵ヶ丘1-4-32（あゆみ保育園内）

☎096-339-5673 相談専用☎096-339-5721

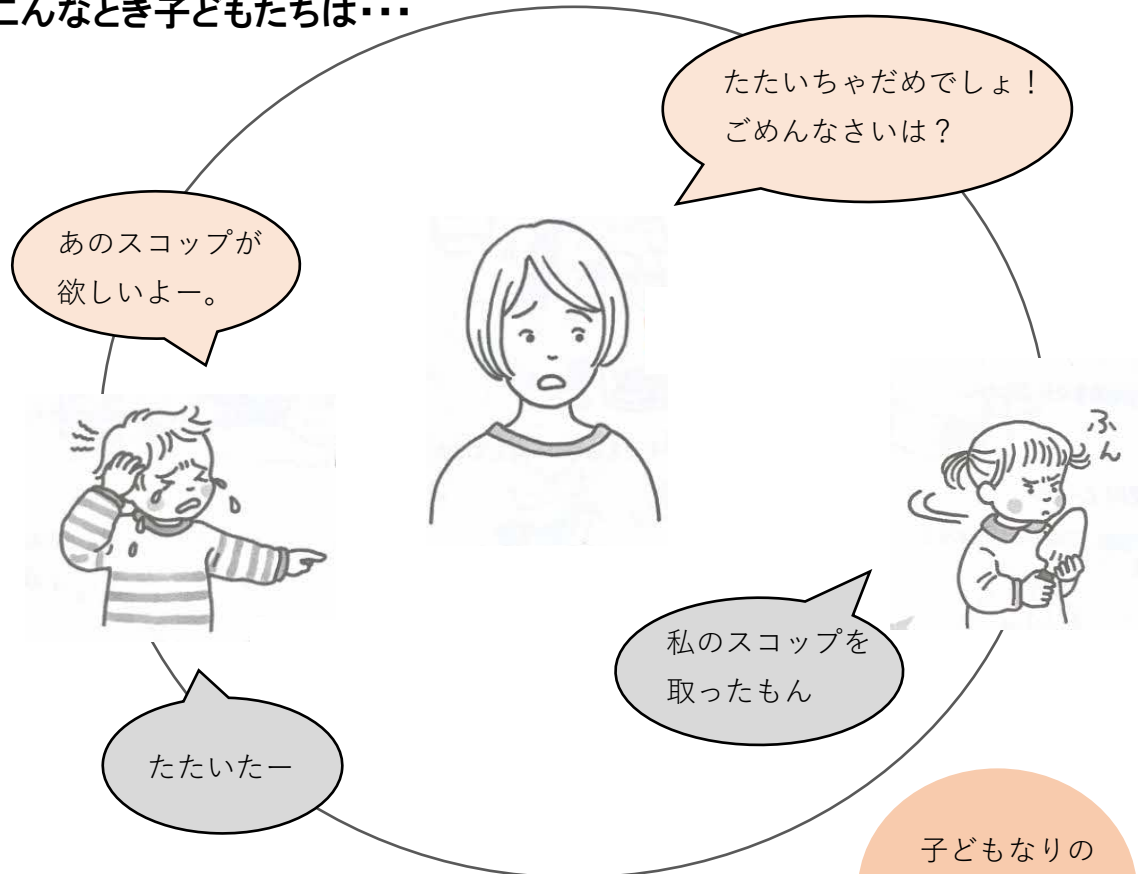
http: //www.kumamoto-ayumi.org E-mail: ayumi@wonder.ocn.ne.jp

子どものけんかどうしてる？

✳️子どもの遊びにけんかはつきもの

1歳や2歳で「スコップがほしいの？ はいどうぞ」なんて貸すこどもたいるは
ありません。子どもたちは、何度もけんかしながら少しずつルールを理解して
いきます。

◎こんなとき子どもたちは・・・



◎子どもたちは人間関係の初心者。
だから大人の控えめな手助けが必要なのです。

子どもなりの
ちゃんとした
理由がある

よくお母さんたちから公園や児童館、支援センターなどで一緒になったお友だちのおもちゃを黙って取
ろうしたり、逆に他の子におもちゃを取られて「バチン！」と叩いたり、自分が使っているおもちゃを独占
してお友だちに貸さなかったりで、ちょっとしたトラブルになり、どうしたらいいか困った・・・という話
しを聞くんじゃ。

親としては、おもちゃをお友だちに貸してあげたり、一緒に仲良く遊んでくれることを望んで我が子を叱っ
たり、我慢させようとしがちじゃが、ケンカしたり自分の我を通そうとするのは当たり前の子どもの姿なん
じゃよ。

トラブルになった時の親の対応の仕方の例を紹介するから、参考になると嬉しいの～。

ここで一句・・・

「1、2歳 物をがめても あたりまえ」「けんかする 友だちがいて よかったね」



✳️控えめな手助けって？

「ごめんなさいは！？」とどんなに怒っても、子どもは次からどうすればよいのか学ぶことが
できません。次からどうすればいいのか、何度も繰り返し教えましょう。



☆子どもの気持ちに共感

☆相手の気持ちを伝える

☆人間関係のルールを伝える

友だちとぶつかり合いや遊びの中で、子どもたちは人間関係を学びます。
3、4歳以降は（ルールを知っているの）けんかもある程度見守っていきましょう！